

利府町総合計画(2021-2030)案のパブリック・コメントに寄せられたご意見の概要及びそのご意見に対する町の考えについて

ご意見個所	ご意見内容	町の考え
全体について	<p>すごく練り練って作られたものだと思います。これを作られたみなさん大変だったと思います。大変お疲れ様でした。この施策はSDGsのこの部分につながってますとかとてもいいなと思いました。誰しものがボランティア精神をもってますし、知らず知らずに貢献してたみたいの流れがすごくいいなと思いました。</p>	<p>SDGsは、国際社会における2030年までの開発目標です。利府町では、こうした世界規模の目標も十分に踏まえながら、総合計画の各政策、施策の推進に取り組んでいきます。</p>
	<p>「市制移行」について、文字の意味が分からないかなと思いました。自分はこの言葉自体ピンときませんでしたので、注釈が必要と思います。</p> <p>また、市制移行はあくまで手段だと思うので、市政移行の先に何があるのか？市政移行をするということでのどのように一人一人の幸せにつながっていくのか？については、「将来を見据えた長期的な課題」の部分で明記されていますが、将来像の部分や、または最終的に計画書を冊子化する際に入ると思われるあいさつや導入部分でもその旨を分かりやすくしたほうがいいかなと思います。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、将来を見据えた長期的な課題の部分で、町民一人ひとりが幸せを実感し続けられる暮らしや環境を次世代にも継承していけるよう、市制移行という大きな目標を見据えることを明記していましたが、将来像の部分にもその旨を追記します。</p> <p>また、冊子にする際にも、デザイン等によりその旨が分かりやすく伝わるように工夫します。</p>
	<p>渋滞解消についてが1位なのに利府町で解決できる問題じゃないかと。。。これは県の問題でもありますよね。確かに住民の声かもしれませんが、最終結果として「記載するだけ結局何も変わらなかったね」となる可能性が高いのであれば書かない方がいい気がします、難しいところですね。</p> <p>イオン新棟もオープンしますので、ますますの課題と思いますが、町としてできる範囲での推進に期待します。</p>	<p>町としましては、交通渋滞及び公共交通における利便性を向上していくことは大きな課題であると考えており、重点戦略として位置付けております。今後、もっと住みやすく快適なまちとなるよう各施策を積極的に推進していきます。</p>

<p>体裁について</p>	<p>結論から先に書いてそう至った根拠を羅列したほうが分かりやすいです。問題点を解消する為のマーケのデータから記載がありますが、これで自分は読む気がなくなっちゃいましたし、すんごく不安を煽られた気がしました。このまま利府に住んでたらやばくない？と思う人もいるのではないのでしょうか。</p> <p>後半に、とってもワクワクする内容が書いてあるのもったいないなと思いました。プレゼン資料としてはこの流れがむしろ正解ですが、読み物としては全く逆で、「結論として利府ではこんな目的の為にこんな施策をやっていきます。なぜならこんなデータがあるからです。」の体裁にしてあげないと読めないです。100 ページはさすがに。今からの構成変更は難しいと思いますので、これは冊子化にあたってのデザインの部分で「伝わる、読みたくなる」工夫を頂きたいとこです。</p>	<p>今回の総合計画では、将来的な大きな目標を見据えた将来像を描いたことから、その理由を序論の部分にしっかりと書き込みましたが、そのことにより、ご意見のとおり、逆に伝わりにくくなる可能性もあるという点を踏まえた上で、冊子デザインの際に、より読みやすく、伝わりやすくなるように工夫します。</p>
	<p>足りない部分を補うという考え方で全体が作られていますが、足りない部分を補うのではなく、「長所を伸ばすことで短所が霞ませる」といった考え方で体裁をつくった方が良い気がします。せっかく利府の魅力がたくさんあるわけなので、これをグンと伸ばすべきではないのでしょうか？</p> <p>この長所をさらにグンと伸ばすためにはこんな施策を考えてますのほうが圧倒的にワクワクすると思います！</p> <p>小さい問題をおざなりにするのではなく、あくまで体裁の問題です。問題にフォーカスするとどうしてもマイナス 10 から 0 へという思考になるので、プラスではないのです。</p> <p>であればプラス1という魅力を 10 にしましょうの方がよくないですか？ということです。あくまで体裁ですので、ここも冊子化する際のデザインでぜひ工夫をしていただきたいと思います。</p>	<p>利府町は、他の市町村にはない魅力や地域資源が多くありますので、ご意見のとおり、冊子デザインの際にその部分を強める工夫をすることで、ワクワク感のあるまちづくりを進められるような計画書とします。</p>

全体について	<p>人口減少時代の中、次の世代へつないでいける持続可能な町にするために、市制移行という大きな目標を見据えてチャレンジしていくことは、大変素晴らしいことと感じます。また、住民としてとても楽しみでもあります。</p> <p>そうした街づくりを進める上で必要となってくる事は、公共交通の利便性だと考えます。利府町は、青山・神谷沢・菅谷台・しらかし台・葉山等の住居エリアと中心部が離れており、徒歩や自転車での移動が容易に行えない都市構造になっているため、自家用車への依存が高まり、朝と夕方の渋滞の要因の一つになっていると思います。</p> <p>それらを改善するために、路線バスの増線、増便が必要と考えます。しかし、路線バスは車社会の進展や深刻な運転士不足により減便、路線の統廃合、運賃改定を余儀なくされている状況だとお聞きました。</p> <p>山梨県では「地域公共交通利用促進キャンペーン」というお得な路線バスの回数券を発行するなどを行い、公共交通機関の利用者が増加したとのデータもあります。利府町でもこのようなイベントを行なっていく事で利用者の増加に効果があるのではと考えました。</p> <p>町民バスとの兼ね合いや財源など難しい問題もあるかもしれませんが、その他にも、地域コミュニティで車をシェアし、地域活性化を図る「コミュニティ・カーシェアリング」を導入し、支え合う地域づくりは勿論、過疎地域に住む高齢者の移動問題も改善されていくと考えました。</p> <p>未来につなげるまちづくりへのひとつのアイデアとしてお聞きいただければ幸いです。</p>	<p>町としましては、交通渋滞及び公共交通における利便性を向上していくことは大きな課題であると考えており、重点戦略として位置付けております。いただいたご意見については、渋滞緩和及び公共交通対策のみならず、高齢者福祉の移動問題にもつながる大変貴重なアイデアであると捉え、今後の参考にさせていただきます、もっと住みやすく快適なまちとなるよう、各施策を積極的に推進していきます。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

